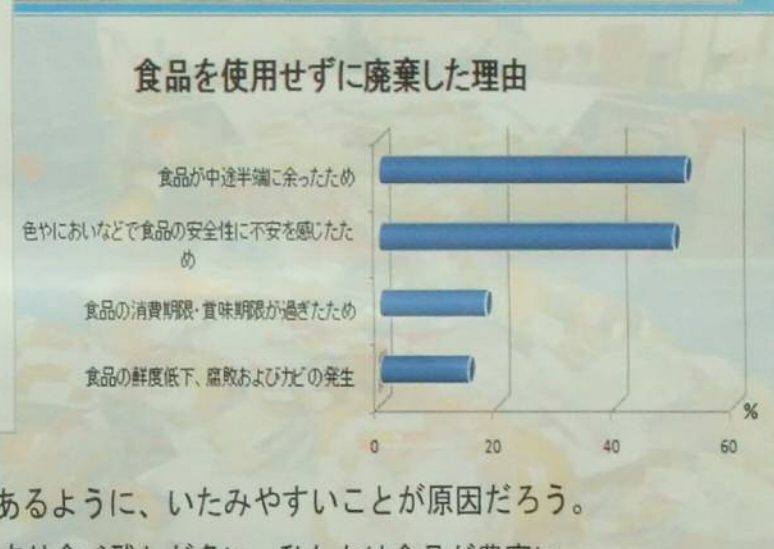
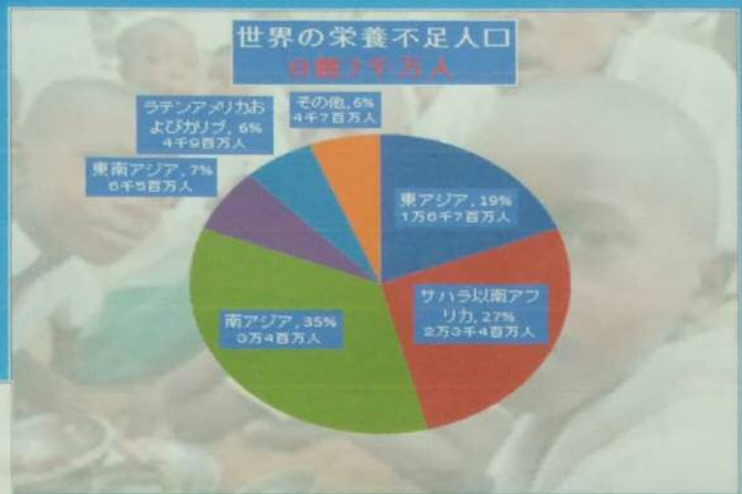


食品ロスについて

「食品ロス」というものを知っているだろうか。「食品ロス」とは、食べずに廃棄された食品のことである。

現在、世界の栄養不足人口は **約8億7千万人**、世界全体の食料援助量は約400万トンなのに対し、日本の食品ロス量は、500~800万トンと、援助量の約2倍の食品が無駄になっている。こんなことがあってよいのだろうか。



食品ロスは、おもに野菜類が多い。理由にもあるように、いたみやすいことが原因だろう。理由としては、食品が中途半端に余ったため、つまり食べ残しが多い。私たちは食品が豊富にあることを理由に、食べ物を平気で残しているという現状があるのではないだろうか。



しかし食品ロスは、年々減ってきている。

最近では、残った料理をパックに入れて持って帰ることができるサービスや、ドギーバッグの普及、残ったお弁当を安くして売るなど、さまざまな工夫が増えてきている。

まとめ

豊富に食べ物がある現在の日本。しかしその裏側では、大量の食品が無駄になっているという現状がある。この状態を改善するには、なによりも一人ひとりが考えて行動することだろう。世界の栄養不足のことなどをしっかり意識して食べ物を大切にしたい。

参考

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/
http://www.caa.go.jp/adjustments/index_9.html